発行日：
2019年3月18日

明治学院大学心理学部　白金心理学会報

さいころ

第11号

2018–2019

白金心理学会イベント

- 2018年6月10日
  白金心理学会第11回大会：総会、2017年度奨励費獲得者研究成果報告、2018年度奨励・活動費獲得者ポスター発表、懇親会　開催
- 2018年11月16日
  心理学科在学生部会SC第26年回キャリア支援シリーズ「心理学科交流会」開催
- 2018年11月30日
  在学生部会院生SC第27回キャリア支援シリーズ「院生とごはん」開催
- 2019年1月17日
  教育発達学科在学生部会SC第28回キャリア支援シリーズ「キャリア支援アンケート」実施

目次：

会報第11号発行に寄せて　1
白金心理学会第12回大会のお知らせ　1
第11回大会報告　2
学科別講演会・交流会報告　3
研究奨励事業報告　4
在学生部会SC活動報告　4
新任教員のご紹介　5
退任教員からのお言葉　6
事務局よりお知らせ　6

会報第11号発行に寄せて

緒方　明子　学会長（心理学部長）

2018年度から白金心理学会会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。私は、実は文学部心理学科の時代を知っている数少ない教員の一人です。赴任した当初、神保信一先生、大坪明徳先生、渡辺三枝子先生、金子健先生がいらっしゃいました。先生方は心理学科共同研究室のテーブルを囲んで、よくおしゃべりをしていらっしゃいました。雑談の中からいろいろなことを教えていただきました。先日の神保先生のご葬儀では当時学生であった卒業生に出会い、20年前の光景が一挙に思い出されました。卒業生同士のつながりの大切さと暖かさを改めて感じた時間でもありました。

白金心理学会は文学部心理学科、そして心理学部の同窓会組織をより堅固なものにすることを目的の一つとして、井上孝代先生が学部長の時に設立されました。同窓生の大切さは、卒業後、時間が経つほどわかるようになるのかもしれません。私自身も、数年前の教育発達学専攻設置のときに、大学・大学院時代の同期や後輩と連絡をとり、非常勤講師をお願いしました。皆忙しいにもかかわらず快く引き受けて下さり、本当に心強く思いました。そして、同窓生同士のつながりのありがたみをしみじみと感じました。卒業生の横のつながりに助けられた経験をした方も多いのではないでしょうか。

緒方　明子先生

現役学生の教育実習先にもたくさんの卒業生がいます。「○○PS（あるいはPE）の○○です」と声をかけられます。今後は、地域ごとに同窓会組織があってもよいのかもしれません。次の総会のときに、地域ごとの同窓会の設立についても提案をしてみたいと思います。少数であっても、同窓生が近くにいる、連絡が取れる、ということが大切だと思っています。組織作りにぜひご協力くださいますよう、お願いいたします。

白金心理学会第12回大会のお知らせ

野村　信威先生（心理学科准教授）

白金心理学会第12回大会は2019年6月16日（日）に明治学院大学白金キャンパスで開催されます。今回の大会では第11回大会の方針を踏襲して、それぞれの学科ごとに講演会を行う予定です。心理学科の講演会では今年度より着任された犯罪心理学がご専門の小林麻衣子先生から「犯罪被害者の心理と支援：遺族のトラウマと悲嘆に焦点をあてて」というタイトルでご講演いただきます。教育発達学科の講演会では2014年度に惜しまれつつ退職されました岩辺泰吏先生から「眠れぬ夜の教師のために」というタイトルでご講演いただく予定です。またスケジュールについては前回は昼食の時間帯に行った懇親会をふたたび講演会終了後の夕方の時間帯に設け、ご参加下さる皆さまにゆっくりとご歓談いただけるようにしました。そのほかには従来通りに研究・活動奨励費獲得者による研究成果報告などを予定しています。

白金心理学会は名称こそ学会となっていますが、年に１回開催される大会は卒業生や修了生が母校を訪れて先生方や大学時代の友人たちと旧交を温める貴重な機会となることを願っています。

事務局では在校生や卒業生、修了生にとって魅力的な大会になるように工夫を重ねています。皆さまの積極的な参加を心からお待ちしています。

白金心理学会第12回大会

日時：2019年6月16日（日）12：30開始
会場：白金校舎本館（本会場：1255教室
　　その他会場：1251～1254教室）

スケジュール

12：30～ 14：15	総会・奨励事業獲得者研究成果報告
14：30～ 15：30	学科別イベント（講演会） 小林麻衣子先生（心理学科） 岩辺泰吏先生（教育発達学科）
15：45～ 17：00	懇親会

第26回キャリア支援シリーズ「心理学科交流会」

11月16日に白金校舎2301教室にて「心理学科交流会」が開催されました。
心理学科2年生を対象に、普段接することの少ない3年生と大学生活などについて話す機会をもちました。
イベントには31名の参加者があり、にぎやかな雰囲気の中、自由な交流を持つことができました。

第27回キャリア支援シリーズ「院生とごはん」

11月30日心理学科2～4年生を対象に、大学院生が大学院生活などについて話すイベントを行いました。

お昼休みということもあり、お昼ご飯を食べながら、和やかな雰囲気の会となりました。
大学院生の参加人数も多く、学生にとっては丁寧な個別対応を受けることができました。

第11回大会報告

野村　信威先生（心理学科准教授）

2018年6月10日（日）に開催されました白金心理学会第11回大会についてご報告いたします。当日はあいにくの天気にも関わらずおよそ60名の方にご参加いただきました。総会では例年通り事業報告や会計報告などがつつがなく行われました。

この大会ではこれまでのスケジュールを見直し、午前中に総会と研究奨励発表を行ったのち、例年は夕方の時間に開催していた懇親会を昼食の時間帯に移動し、参加者の皆さまが帰りの時間を気にせずにゆっくりご歓談いただけるように配慮しました。懇親会にはおよそ50名の方にご参加いただき、緒方学部長をはじめとする両学科の先生方とはじめて直接の交流を楽しむ機会や、久しぶりの交流に盛り上がる様子が見られました。懇親会は昼食時の開催のため、ノンアルコールドリンクや食後のコーヒー、紅茶やケーキなどを楽しむ方が多く見られました。懇親会参加費は例年よりも低めに設定しましたので、参加された方にはとても満足していただける機会となったのではと思います。

またこの大会では初めての試みとして、懇親会後の講演会と交流会を心理学科と教育発達学科それぞれ別に企画しました。これまで両学科を合わせて講演会やシンポジウムを企画する場合には、いずれの学科の在学生や卒業生の興味をひくテーマを設定する必要があることから、企画に苦慮することがしばしばありました。会場が別々になることは少し寂しい気もしますが、今回の講演会はそれぞれの学科の参加者にとって有意義なものだったのではないでしょうか。心理学科と教育発達学科の講演会と交流会の内容については後述します。

学科別講演会･交流会報告

心理学科

森本　浩志先生（心理学科准教授）

心理学科の講演会では、金沢吉展先生より、「カウンセリングのプロセスを探る：クライエントとセラピストはカウンセリングをどうとらえるか」と題してお話しいただきました。カウンセリングの効果はどのように測るのか、カウンセリングを進めていく中で、クライエントとセラピストはそれぞれどのような思いを抱くのか、それぞれの思いがカウンセリングの効果にどのようにつながるのか、などについて具体的に分かりやすく教えていただきました。

講演会に続いて行われた交流会では、日本で初となる心理支援の国家資格である公認心理師が誕生し（2015年9月9日に公認心理師法が成立、2017年9月15日に施行）、本学でも2018年度の入学生より公認心理師の養成カリキュラムが始まったことを踏まえて、「公認心理師・臨床心理士時代の明学臨床心理学」をテーマとして、杉山恵理子先生、野末武義先生、森本浩志先生よりお話しいただきました。初めに野末先生より、本学の臨床心理学の教育体制や卒業生・修了生の活躍、公認心理師として求められる能力についてお話しいただきました。次に、森本先生より、公認心理師に求められる能力として、他分野の専門家との連携や社会に向けた説明責任についてお話しいただきました。

最後に、杉山先生より、これまでのお話を踏まえたまとめをいただきました。その後は、杉山先生がファシリテーターとなり、参加された方がテーマについて思うことを発表し、意見交換を行いました。1年生から社会人として活躍されている卒業生まで、様々な立場の方から多くの思いが語られ、充実な交流会となりました。

講演会の様子

交流会の様子

教育発達学科

垣花　真一郎先生（教育発達学科准教授）

心理学部が2学科体制となってから9年目を迎え、それぞれの学科の卒業生が増えてきました。2018年度の大会では、各学科の卒業生が集える場を作ろうという趣旨で、「学科別交流会」が実施されました。それ以前に催されていた教育発達学科の「卒業生懇親会」はここに統合されました。

本年度は、教育発達学科は「在学生・卒業生・修了生・教員の集い」と題して、講演会と交流会を実施しました。

講演会では、緒方明子先生による「特別支援教育を推進するために必要な数字・親の会・エビデンス」と題した講演が行われました。これまで障害児者心理学の第一人者として、特別支援教育の普及に努められてきた緒方先生より、同教育をめぐる国の制度の変遷の背景や、今後の在り方についての考え方が述べられました。会場では、緒方先生の下で学んだ卒業生や、現場の先生方、特別支援教育を志す在学生など多くの方々が熱心に耳を傾けていました。

講演会の後は、軽食を囲んでの交流会が行われました。文学部時代の卒業生、心理学科時代の卒業生、教育発達学科の卒業生、大学院教育発達学専攻の修了生、在学生、教員というバラエティーに富む経歴の方々が集い、昔日の思い出や今日の教育発達学科の様子などを語り合いました。在学生の中には、今年度、入学したばかりの1年生も見られ、先輩方の話に熱心に聞き入りながら、将来への思いを新たにする様子が伺えました。

学科別交流会は新たな試みでしたが、大きな成功を収めたように思われます。次年度以降も、この会を、卒業生が旧交を温め、在学生が先輩方から刺激をもらえるような「集いの場」として育てていきたいと思います。

講演会の様子

交流会の様子

研究奨励事業報告

垣花　真一郎先生（教育発達学科准教授）

報告の様子

2017年度の研究奨励費獲得者である白石諒さん（採択時の所属：教育発達学科4年）による研究成果報告が行われました。白石さんは、「横浜市内におけるホールスクール・アプローチの展開―フレームワークと落とし込みに着目して―」と題する研究を行いました。ホールスクール・アプローチとは「持続可能な開発のための教育」のための実践手法の1つです。発表ではこの手法の枠組みと、横浜市内の小学校での導入事例についての調査結果が報告されました。研究成果の要旨は学会HPにて公開されていますので、是非、ご覧ください。

2018年度研究奨励事業

2018年度の研究奨励事業獲得者

白金心理学会内で審査した結果、全ての応募者が採択されました。以下の通りご報告いたします。

研究奨励

- 「インターネット依存のサブタイプ別検討」　代表：小澤英里子
- 「非定型うつ傾向者の不安低減方略の検討」　代表：金田翔太郎（他10名）
- 「AYAがん患者と親の関係に関する質的研究」　代表：水沼香奈
- 「教育現場における、虐待相談・通告に関する質的研究」　代表：真栄平矢（他3名）

活動奨励

- 「地域スポーツの教材的価値をさぐる」　代表：田中紗良
- 「発展途上国における学校体育の実態調査」　代表：制野寛

在学生部会SC活動報告

SC活動一覧

4月	フレッシャーズ研修（1年生）
6月	・教育発達学科・心理学科スポーツ交流会（1年生） ・白金心理学会第11回大会　運営補佐
11月	・第26回キャリア支援シリーズ「心理学科交流会」 ・第27回キャリア支援シリーズ「院生とごはん」開催
12月	・教育発達学科スポーツ交流会（1年生）
1月	・第28回キャリア支援シリーズ「キャリア支援アンケート」

＜心理学科SC＞

在学生部会心理学科は、4月にフレッシャーズ研修を開催しました。そこでは、３年生が中心となり新入生へ向けた大学生活についてのガイダンスを行いました。また、研修内ではスーツを着用しソーシャルスキルトレーニングの一環として都ホテルにて食事会を行いました。6月にはスポーツ交流会を企画し、新入生の仲をより深める為にレクリエーションをしながら交流しました。12月には、公認心理師制度の開始に伴い、今後の進路に不安を抱える学生の為に「キャリア支援イベント」として大学院生を招き、相談の場を設けました。普段、院生との交流ができる場が無い為に多くの学生の参加が見受けられました。

＜教育発達学科SC＞

在学生部会教育発達学科では、新入生の支援を目的とした活動を行っています。教育発達学科では、毎年行われているフレッシャーズ研修、スポーツ交流会を企画運営しています。今年度のフレッシャーズ研修では、新入生がこれからの学校生活の中で不安となるものを少しでもなくすような企画を考え3年生が主体となって行いました。結果的に、多くの新入生に参加してためになったという声を聴くことができました。

スポーツ交流会では、今年度も1年生の春学期、秋学期共に戸塚校舎の体育館にて開催することができました。友達の少ない1年生にとっては友達づくりのチャンスを設けることができ、交流会の最初と終わりでは1年生の表情が柔らかくなっているのを確認でき、楽しかったという声も聴くことができました。

学科の代表としてこれからも精進してまいりますので、よろしくお願い致します。

＜大学院SC＞

大学院生SCは、2018年11月30日(金)昼休みに、院進学イベントとして「院生とごはん」を開催しました。本イベントでは、心理学専攻臨床心理学コースと心理学コース、教育発達学専攻の院生が学部2～4年生と共に昼食を食べ、大学院進学や大学院生の研究活動に関する情報提供を行いました。具体的には「大学院ではどのような勉強をするのか」、「研究計画はどのように立てたらよいか」等の学部生からの質問に、大学院生は自らの経験を踏まえて答えていました。昼休みという短い時間の中での開催となりましたが、私達の予想より多くの学部生が集まり、大盛況のうちに終了することができました。今年度もたくさんのご支援ありがとうございました。

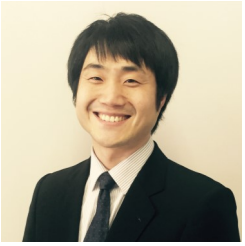
新任教員のご紹介

谷川　夏実先生

2018年4月に教育発達学科に着任いたしました谷川夏実（たにがわなつみ）です。専門分野は、幼児教育学、保育学です。初期キャリアの保育者が経験する困難や葛藤および専門的成長に関する研究や、幼児教育における社会化のあり方にも関心を持ち、幼稚園でのフィールドワークを行っています。データや理論に基づいて、現代の子どもをとりまく社会的な状況や子どもの育ちに関する理解を深め、幼児期の教育はどうあるべきかを学生の皆さんとともに考えていきたいと思います。

小林　麻衣子先生

2018年4月より助手として着任しました。授業や修学支援などを通して、学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、サポートしていきたいと思います。専門は、被害者学、犯罪心理学、社会心理学です。大学院では、少年非行（修論）、犯罪被害者遺族への支援（博論）について取り組みました。現在も、定期的に犯罪被害者遺族の会に参加し、遺族の方たちの聞き取り調査を行っています。趣味は音楽を見る、聴く、弾く。大学時代はずっとバンドをやっていました。よろしくお願い致します！



玉腰　和典先生

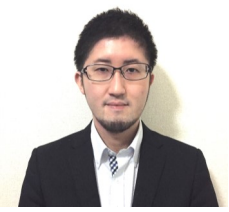
2018年４月に教育発達学科の助教として着任いたしました玉腰和典（たまこしかずのり）です。専門は体育科教育学です。現場教員と一緒に授業づくりをしていきながら、体育授業における認識形成に着目して、その実態を探求しています。学生の方々には、スポーツを身体運動文化として再解釈していくことで、広い視野をもって体育・スポーツをみつめる力をつけてもらえるよう授業づくりをしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

鑓水　秀和先生

2018年5月に心理学科に助手として着任しました、鑓水秀和(やりみずひでかず)と申します。学科においては、授業の補助や卒業論文にかかわる業務、実験機器の管理などを通して、学生の皆さんの学習や研究のサポートを務めています。困ったことがあれば、普段在室している白金校舎本館6階の心理学部共同研究室に相談しに来てみてください。私自身は顔、集団、カテゴリなどの高次認知機能と視覚的注意の関連について研究しています。どうぞよろしくお願い致します。

根本　淳子先生

2018年4月に教育発達学科に着任いたしました根本淳子（ねもとじゅんこ）です。私の専門は、教育工学・教育方法です。教育実践者の支援を研究テーマとしています。誰にでも学び、学びあい、そして教える機会が存在し、生涯にわたって学ぶ場面があります。このような様々な学び場を魅力的で効果的になるような学習デザインやそれを支援するための道具作りに着目し、これまでは高等教育を中心に取り組んできました。教育実践と研究のつながりを大事にして今後も継続したいと思います。



中島　隆太郎先生

2018年4月に心理学部に着任いたしました中島隆太郎です。専門は臨床心理学で、特に家族心理学や統合的な心理療法に関心があります。これまでは公立学校のスクールカウンセラーや民間の相談機関等で、学校や家庭など、子どもを巡る環境の調整を主に実践してきました。本学では、皆さんとかかわりを持ちながら、豊かな学びの一助になれるよう努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

心理学部の思い出

教育発達学科発足に立ち合って

新井　哲夫先生（教育発達学科教授）

新井　哲夫先生

心理学部の思い出として挙げたいことは、教育発達学科発足に立ち合い、学科とともに9年間を過ごせたことです。何もかもがはじめて取り組むことばかりだった1年目。一期生には、個性的な人が多く、集団としても多様性に富み、型にはまらないおもしろさがありました。そして2期生、3期生を迎え、やがて2013年度に4期生が入学して全学年揃った時の感慨は、格別のものがありました。その後は、年を経るにしたがって充実し、学科の性格もより確かなものとなって、今日に至っています。

新しいことのはじまりは、どんな年齢になってもワクワクするものですが、私にとって、教育発達学科の発足に立ち合い、その後の発展に関われたことは、そのような心弾む貴重な経験になりました。その間、学生諸君はもとより、学科を超えた教職員の方々との数え切れない心温まる出会いや交流がありました。教員生活最後の9年間を、この心理学部で過ごせたことを心より感謝いたします。

ドン・キホーテの夢のまた夢

阿部　裕先生（心理学科教授）

阿部　裕先生

え、戸塚キャンパスで、臨床心理概論を教える！医学の道でしか生きてこなかった私に、概論、毎週が勉強でした。一方、国際学会や調査で訪れた、プラハ、マドリード、ハバナ、リマなどの街並を歩く楽しみもありました。学部生や院生のゼミ合宿でも、山形、長野、茨城、静岡など遠いところまで出かけて行きました。時々ずれる私のフォローに学生は大変だっただろうと思います。超高級バルから居酒屋まで、いろいろなお店で飲みまくりました。そうしたことも今年3月で卒業です。焼け焦がす太陽と紺碧の海のもと、南スペインでゼミ合宿ができなかったことが残念です。スペインへの移住、叶ったら皆さまを白亜の別荘にご招待いたします。16年の長きにわたり、私を支えて下さった皆さまに感謝を申し上げます。

事務局よりお知らせ

○白金心理学会第12回大会のご案内

来る2019年6月16日（日）12：30より白金校舎において「白金心理学会第12回大会」を開催いたします。総会から始まり、2018年度研究・活動奨励費獲得者による研究成果報告が行われ、その後学科ごとに分かれ、講演会を行います。講演会は、心理学科は小林麻衣子先生、教育発達学科は岩辺泰吏先生に講演をしていただきます。プログラム終了後、15：45よりインナー広場さん・サンにて懇親会を行います。在学生、卒業生、教員の垣根なく交流できる良い機会ですので、皆様お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

○教員の動向

2019年3月、阿部裕先生（心理学科）、市川珠理先生（心理学科）、新井哲夫先生（教育発達学科）が退職されました。

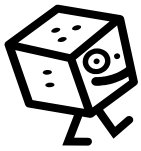
2019年度のサバティカルは教育発達学科の辻宏子先生です。2019年度は出校されませんので、ご注意下さい。

○白金心理学会ホームページ

白金心理学会事務局からのお知らせ、白金心理学会が主催するイベントのお知らせ（在学生、卒業生向け）、広報紙「さいころ」のバックナンバーなどを掲載しています。また、連絡先の変更や大会の申込みなどもホームページで行うことができます。スマートフォンからも閲覧できますので、是非一度ご覧ください。

○卒業後の住所変更登録にご協力下さい！

卒業時から住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会ホームページ「卒業生へのお願い（連絡先変更登録）」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。



白金心理学会
イメージキャラクター
「さいころくん」

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108-0074
東京都港区高輪3-1-5
明治学院大学高輪校舎15号館
15313号室

TEL＆FAX:
03-5421-5814
問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

白金心理学会ホームページ
URL：https://
psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/